

都内の桜も満開を迎え、いよいよ春本番です。さて3月中旬に開催された表彰委員会にて、第18回図書館サポートフォーラム賞の授賞者ならびに表彰式日程が決定致しましたので、下記ご案内申し上げます(岩本)。

■ 第18回 図書館サポートフォーラム賞表彰決定

ユニークで社会的に意義のある各種図書館活動を表彰し、図書館活動の社会的広報に寄与することを目的に設立した本賞も第18回を迎えました。2016年3月15日に開催された図書館サポートフォーラム表彰委員会にて、ノミネートされた候補について選考を行い、その結果、埼玉県立久喜図書館、田川浩之氏、手代木俊一氏のご三方の表彰を決定致しました。表彰理由は以下の通りです。

★図書館サポートフォーラム賞

○埼玉県立久喜図書館

埼玉県立久喜図書館は国立国会図書館レファレンス協同データベースの最初期より参加し、県内の他の県立図書館と連携しながら多分野にわたるレファレンス事例を登録し続け、今日、自他ともに「日本一！」を誇る成果を提供している。数値的に見るならば、平成 26 年度末において、累積登録点数「25,962」、年間登録点数「1,277」、被参照件数「2,017,711」となっている。国立国会図書館の Web サイトで「データ総登録数 15 万件突破記念ページ」は平成 27 年 7 月に公開されているが、久喜図書館は実にその約 17%超を担ってきたことになる。ちなみに平成 27 年 3 月時点の参加館は 656 館。埼玉県立久喜図書館のデータ被参照件数は、国立国会図書館を除き、平成 20 年度より 8 年連続全国一、累積登録点数は国立国会図書館に次ぎ、第 2 位である。このような実績を支えている理念は、埼玉県立図書館が重点目標の一つである課題解決支援機能の強化として県民の専門的な調査研究活動を支援するため、レファレンスサービスを推進するとしていることから顕著である。以上に見られる継続的なレファレンス活動は県立図書館の使命を良く示しており図書館サポートフォーラム賞にふさわしく、高く評価して表彰するものである。

○田川浩之氏 (金沢文圃閣 代表)

田川氏は北陸の古都金沢において古書店を営むとともに、書籍・出版・図書館・書誌・戦時期文化史資料などに関わって他にない出版活動を展開している。特色的な数例を挙げてみるならば、出版・書誌・書物メディア史の「文圃文献類従」には、田川氏ご自身の解題になる全 2 巻の『出版情報 (戦時占領期出版関係史料集)』、天野敬太郎の「書誌の書誌」を完結せしめた『日本書誌の書誌—社会科学編 (主題編 3)』があり、「図書館学古典翻訳セレクション」には、ガブリエル・ノーデ『図書館設立のための助言 (品切)』やピアス・バトラー『図書館学／印刷史著作集』ほかの藤野幸雄父子による訳書がある。ちなみに故藤野幸雄氏は 2009 年第 11 回の本賞を受賞されている。さらに 2001 年第 3 回本賞の受賞者である深井人詩氏の先導によって 2001 年以來の年刊書誌雑誌『文献探索人』、そして『文献探索人叢書』の刊行を続けられるなど、図書館員による書誌・年譜編纂の成果公開のための貴重な場を提供していることは、図書館員の自己研鑽へ向けての大きな支援、エールであると考えられる。この事業自体、図書館の外から図書館と図書館人をサポートする、まさに図書館サポートフォーラム賞にふさわしく、高く評価して表彰するものである。

○手代木 俊一氏（立教大学立教学院史資料センター員／元・フェリス女学院大学附属図書館）

手代木氏は中央大学文学部哲学科を昭和48年に卒業され、神戸女学院大学、フェリス女学院大学、国際基督教大学、立教大学、明治学院大学など多くのキリスト教系私学の図書館あるいは研究資料センターに勤務され、勤務のかたわらキリスト教礼拝音楽学会の発起人の一人となり、機関誌『礼拝音楽研究』を創刊、日本近代史における讃美歌、聖歌史研究の書誌等基礎資料の編纂と研究成果の公表に多大な業績を残されている。特に2010年に刊行の『日本讃美歌・聖歌 研究書誌』は、明治初期に遡って同主題の網羅的書誌として類例のない業績である。例えば、冒頭にある書誌の一項、いささか長いのであるが、を紹介するならば、1880年（明治13年）、「Suggestions for a Japanese Rendering of the Psalms」 Basil Hall Chamberlain, 『Transaction of Asiatic Society in Japan』 Vol. 8, Pt.3(4月) [B. H. チェンバーレン 詩篇日本語訳への提言 及び試訳『讃美歌』<韻文訳詩篇>] 手代木俊一訳『フェリス女学院大学音楽学部紀要』第1号（1995年1月）、『讃美歌・聖歌と日本の近代』（音楽之友社 1999年11月）に改定収録』というものであり、その精緻さ、時間の掛けようは容易に理解されるであろう。本書誌は音楽史のみならず日本近代史研究に広く活用され得るべきものと言えるのであり、長年にわたる研鑽は優れた図書館員の姿勢の典型として図書館サポートフォーラム賞にふさわしく、高く評価して表彰するものである。

■叢書「図書館サポートフォーラムシリーズ」のご紹介

「図書館サポートフォーラム」は、図書館界出身のOBや有志と現職者との連携のもとに相互の交流をはかりながら、図書館活動の社会的広報に寄与することを目的に、1996年に創立されました。これらの活動をふまえて、日外アソシエーツ(株)より、この名称を冠した叢書「図書館サポートフォーラムシリーズ」を刊行し始めました。図書館に関連したさまざまなテーマを通して、図書館活動の発展をサポートすることを目的としたシリーズです。現在以下の5タイトルが刊行されており、今後も年3～4冊程度を刊行していく予定です。ご期待下さい。

- ①「図書館からの贈り物」梅澤幸平著
2014.12刊行 定価(本体2,300円＋税) ISBN978-4-8169-2511-5
- ②「情報貧国ニッポン」山崎久道著
2015.5刊行 定価(本体2,200円＋税) ISBN978-4-8169-2540-5
- ③「図書館づくり繁盛記」大澤正雄著
2015.6刊行 定価(本体2,400円＋税) ISBN978-4-8169-2546-7
- ④「図書館員のための解題づくりと書誌入門」平井紀子著
2016.1刊行 定価(本体1,850円＋税) ISBN978-4-8169-2584-9
- ⑤「デジタル環境と図書館の未来」細野公男，長塚隆共著
2016.3刊行 定価(本体2,500円＋税) ISBN978-4-8169-2589-4



■会員からのご案内(吉田鋼市氏講演会「御成小学校講堂・旧校舎と旧鎌倉図書館の建築」)

当会もご後援させていただいていますが、LSF会員の阿曾様から、講演会のご案内がありましたのでご紹介いたします。なおお問い合わせについては、主催先である図書館とともだち・鎌倉までお願いいたします。

《2015年、老朽化が進んだ「鎌倉市立御成小学校旧講堂」と、解体予定だった「旧鎌倉図書館」が共に保存されることが決まりました。

両施設の確かな保全と豊かな活用に向け、20年以上にわたり、鎌倉市内の景観重要建築物等の指定調査に携われた建築史家の吉田鋼市先生より、「近代建築物の価値や鎌倉大工の技」を学び広く共有したいと思います。》

吉田鋼市氏講演会「御成小学校講堂・旧校舎と旧鎌倉図書館の建築」

日時：2016年4月23日（土）18時30分～21時

場所：鎌倉生涯学習センターホール

- ・住所：神奈川県鎌倉市小町1-10-5
- ・電話：0467-25-2030
- ・JR鎌倉駅東口徒歩3分

講師：吉田鋼市氏（横浜国立大学名誉教授）

1947年、兵庫県姫路市生まれ。西洋建築史研究の第一人者。近代建築を中心とした歴史的な建物の調査を数多く手がけ、それぞれの来歴や見どころ、図面化に取り組んできた。こうした仕事の蓄積を通じ、建物の歴史的、社会的意義を喚起するとともに、建築に関する専門的な知識を持たない人々に対しても、「古い建物を見る目」を広く普及させてきた。

中世の建築物が集積する鎌倉や近代建築が集積する横浜など、バラエティー豊かな建築がそろった神奈川の建物を、歴史、地域という観点から価値付け、整理してきた。こうした見識は、横浜市や川崎市、鎌倉市などをはじめとした県内全域の文化財保護に生かされている。

また、横浜赤レンガ倉庫や横浜生糸検査場といった第一級の建築物から、復興小学校や県内駐在の外資系企業の住宅、港の倉庫といった生活や地域経済に関わる建築物まで、幅広い建物の再発見にも尽力。専門的な見地を、数多くの著書や講演などを通じて、平易かつ魅力的な言葉で解説している。

主催：図書館とともだち・鎌倉、御成小講堂の保全活用をめざす会

資料代：500円

申し込み：先着順（3月1日受付開始）

※お申込みは、催し名、氏名（ふりがな）、電話番号（緊急連絡先）を明記して以下まで。

Fax：0467-45-5731（阿曾）

E-mail：info@totomo.sakura.ne.jp

FB：<https://www.facebook.com/totomokamakura/>

※詳細については以下ホームページをご覧ください。

<http://totomo.sakura.ne.jp/>

吉田鋼市氏講演会 御成小学校講堂・旧校舎と 旧鎌倉図書館の建築	
御成小講堂と旧鎌倉図書館を 確かに保存、豊かに活かし 「御成遺産」をより良い形にして 次世代に繋いでいくための 講演会を開催します。 ぜひ、ご参加ください。	御 成 遺 産
	
2016.4.23. SAT OPEN: 18:10 START: 18:30-21:00 鎌倉生涯学習センターホール	
¥500	<small>*入場の際、資料代として500円が必要です。 *参加は先着順となります。詳しくは申込の返 答書またはお問い合わせください。</small>

■ 図書館サポートフォーラム総会2016・第18回 図書館サポートフォーラム賞表彰式の開催

図書館サポートフォーラム2016年度総会と第18回 図書館サポートフォーラム賞表彰式を下記のとおり開催致します。ご多忙の折、誠に恐縮ではございますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜りたくお願い申し上げます。

日時：2016年4月18日（月） 16:30～20:00

会場：喜山倶楽部 光琳の間 (財)日本教育会館9階

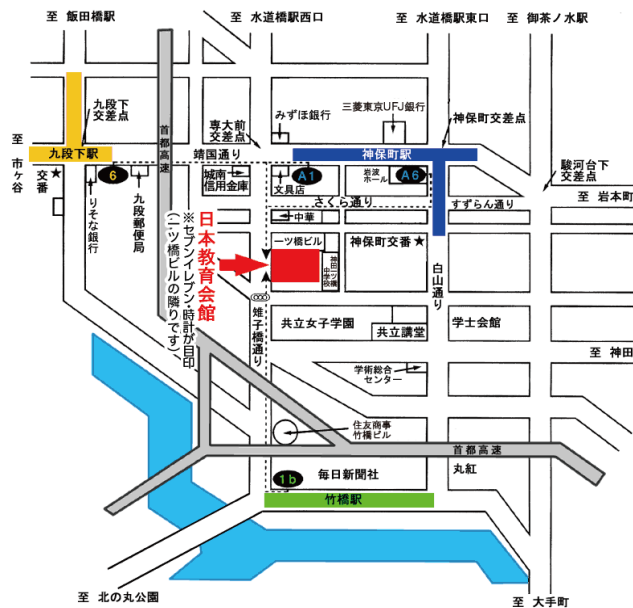
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 TEL：03(3262)7661

スケジュール：16:30～17:15 図書館サポートフォーラム総会

17:15～18:15 図書館サポートフォーラム賞表彰式

18:30～20:00 懇親会

懇親会費：4,000円



- 地下鉄都営新宿線・東京メトロ半蔵門線 神保町駅 (A1出口)下車徒歩3分
- 地下鉄都営三田線 神保町駅(A1出口)下車徒歩5分
- 東京メトロ東西線 竹橋駅(北の丸公園側出口)下車徒歩5分
- 東京メトロ東西線 九段下駅(6番出口) 下車徒歩7分
- JR総武線 水道橋駅(西口出口)下車徒歩15分

「図書館サポートフォーラム総会2016」「第18回 図書館サポートフォーラム賞表彰式」「懇親会」に参加をご希望の方は、申込書（郵便・FAX）または電子メールにて、4/14（木）までに、事務局宛お申し込み下さい。

参加申込書

FAX：03-3764-0845 E-Mail: lsf@nichigai.co.jp

図書館サポートフォーラム事務局宛

4/18「図書館サポートフォーラム総会2016」・「第18回図書館サポートフォーラム賞表彰式」
 <4/14までにご連絡願います>

- | | | | |
|-----------------------------|---|------------------------------|------------------------|
| <input type="checkbox"/> 参加 | ／ | <input type="checkbox"/> 不参加 | 「図書館サポートフォーラム総会2016」 |
| <input type="checkbox"/> 参加 | ／ | <input type="checkbox"/> 不参加 | 「第18回図書館サポートフォーラム賞表彰式」 |
| <input type="checkbox"/> 参加 | ／ | <input type="checkbox"/> 不参加 | 「懇親会」 |

ご氏名：

ご住所：

TEL：

FAX：

E-mail：

図書館サポートフォーラム事務局

東京都大田区大森北 1-23-8 〒143-8550

日外アソシエーツ内

TEL: 03-3763-5241 FAX: 03-3764-0845

E-Mail: lsf@nichigai.co.jp

HP: http://www.nichigai.co.jp/lib_support/index.html

●事務局からのお知らせ

○2016年度年会費 2,000円

○振込先

※三井住友銀行 大森支店 (店番号 785) 普通 1510336

図書館サポートフォーラム事務局 森本浩介 (モリモトウスケ) 宛

※郵便局 (記号10070) 口座番号 86155101

トシヨカンサポートフォーラム宛